

令和元年度 第2回 新潟市歴史博物館運営協議会

日時: 令和2年3月3日(火) 午後2時30分～
会場: 新潟市歴史博物館本館セミナー室

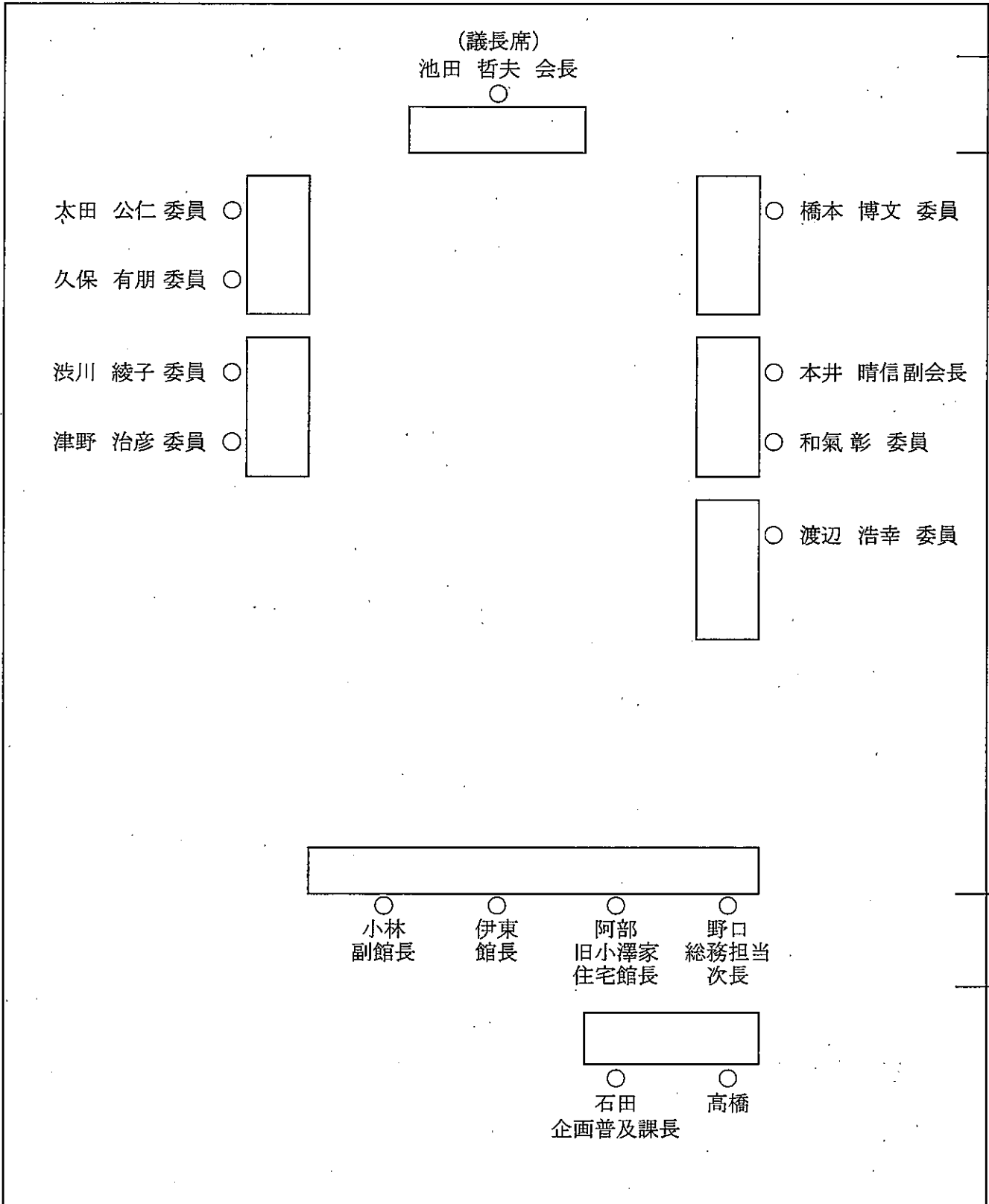
次 第

- 1 開会
- 2 館長あいさつ
- 3 議事
 - (1) 令和元年度の館運営状況について
 - ① 歴史博物館
 - 1) 事業報告
 - 2) 来館者数の動向
 - 3) 文化庁補助事業
「新潟開港150年 新潟古町の記憶と魅力発信事業」
 - ② 旧小澤家住宅
 - 1) 事業報告
 - 2) 来館者数の動向
 - (2) 来年度事業について
 - ① 歴史博物館
 - 1) 事業計画
 - ② 旧小澤家住宅
 - 1) 事業計画
 - (3) その他
- 4 閉会

令和元年度 第2回 新潟市歴史博物館運営協議会 席次

日時: 令和2年3月3日(火) 午後2時30分～

会場: 新潟市歴史博物館本館セミナー室



新潟市歴史博物館運営協議会
(R1～R2年度) 委員名簿

(令和2年2月19日現在)

	氏名	所属・推薦団体等
1	池田 哲夫	【会長】新潟大学人文学部名誉教授
2	太田 公仁	新潟市立潟東中学校長
3	久保 有朋	新潟大学大学院 自然科学研究科
4	佐藤 忠浩	新潟日報社 読者局 事業担当部長
5	渋川 綾子	にいがた湊あねさま倶楽部
6	津野 治彦	新潟市立亀田小学校長
7	橋本 博文	新潟大学人文学部名誉教授
8	羽生 頼子	公募委員
9	本井 晴信	【副会長】元新潟県立文書館副館長
10	和氣 彰	新潟市小中学校PTA連合会 副会長
11	渡辺 浩幸	日本旅行業協会 関東支部 新潟県地区委員会 委員長

(50音順)

オブザーバー	小沢 昌己	歴史文化課長
--------	-------	--------

新潟市歴史博物館運営協議会設置要綱

(設置)

第1条 館長は、新潟市歴史博物館（以下「博物館」という。）の運営について意見を聴くため、新潟市歴史博物館運営協議会（以下「協議会」という。）を置く。

(委員)

第2条 協議会の委員は次に挙げるもので構成する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 学識経験者
- (4) 公募により選抜された者
- (5) その他館長が必要と認めた者

(定数)

第3条 定員は15名以内とする。

(任期)

第4条 協議会の委員の任期は2年とし、平成31年4月1日から平成33年3月31日までとする。ただし、任期中に委員が交替する場合の後任の委員の任期は、前任者の残任期間とする。なお、委員は再選されることは妨げない。

(会長及び副会長)

第5条 協議会に会長及び副会長各1名を置き、委員の互選によってこれを定める。

- 2 会長は会務を総理する。
- 3 副会長は会長を補佐し、会長に事故があるときは、その職務を代行する。

(会議)

第6条 協議会の会議は会長が招集し、その議長となる。

- 2 協議会の会議は、定数の半数以上が出席しなければ、これを開くことができない。
- 3 協議会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長が決するところによる。
- 4 会長は、必要のあるとき、委員以外のものを会議に参加させることができる。ただし、その者は、採決に参加できない。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、新潟市歴史博物館企画普及課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱で定めるもののほか、会の運営に関して必要な事項は、会長が別に定めるものとする。

附則

この要綱は平成16年1月1日から施行する。

この要綱は平成17年7月27日から施行する。

この要綱は平成18年4月1日から施行する。

この要綱は平成20年4月1日から施行する。

この要綱は平成22年4月1日から施行する。

この要綱は平成23年4月1日から施行する。

この要綱は平成25年4月1日から施行する。

この要綱は平成27年4月1日から施行する。

この要綱は平成29年4月1日から施行する。

この要項は平成31年4月1日から施行する。

平成31年（令和元年）度事業報告 博物館

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため、以下の各種事業を行った。

(1) 展示運営更新

人と水の関りをテーマに新潟市の歴史を紹介。学芸員やボランティアによる展示解説を行った。また、川村修就コーナーの展示ケースを、7月・9月・1月の3回、展示替えした。

(2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行った。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催した。

① 「新潟市の文化財」

新潟市域に所在する指定文化財のうち、主に公的機関が管理するものの中から地域の特徴をあらわす資料をえらび、その歴史や魅力を紹介した。

開催期間 令和元年4月13日～6月16日 57日間

観覧者数 4,437人（うち有料観覧者 2,989人、無料観覧者 1,448人）

② 「開港場新潟」展

本年、新潟市は開港150年を迎えた。本展では、新潟開港が決定するまでの道のりや開港を迎えた当時の状況、その後の新潟の変化など、開港をめぐる新潟の歴史を紹介した。

開催期間 令和元年7月13日～8月25日 39日間

観覧者数 4,442人（うち有料観覧者 3,199人、無料観覧者 1,243人）

③ 第16回むかしのくらし展「布とむかしのくらし」

糸車のような布の生産に必要な道具や、洗濯板など関連する道具、白根しぼりのように新潟市に関係がある布などを紹介した。

開催期間 令和元年9月14日～12月8日 74日間

観覧者数 9,231人（無料観覧者）

④ 「収蔵品展・新収蔵品展」

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展を毎年開催しているが、今年度は「新潟市とスポーツ」というテーマで資料を紹介した。また、令和元年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催した。

開催期間 令和2年2月15日～3月22日 32日間

観覧者数 開催中（無料観覧者）

【資料1】

(3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味ニーズに対応するため、ボランティアなどの人的資源や博物館が有するモノや情報を活用して、歴史に関するさまざまなサービスの提供や活動の提案を行った。そのほか、レファレンス用の開架図書を購入した。

① 体験の広場事業

体験の広場の施設や資料を活用し、学芸員とボランティアスタッフ・外部協力者により、小学生や家族連れ・大人等を対象に各種の体験プログラムを計83回(2月時点)実施した。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等を行うほか、職場体験の中学生を受け入れるとともに、地域学習として市内の小学校へ出向いて授業を行った。また、新潟大学と連携して当館学芸員による寄附講義を開講するとともに、大学生を受入れ、通年および期間集中の館実習を実施した。さらに、同志社大学留学中のドイツチュービンゲン大学の学生1名をインターンとして受入れた。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案することを目的として、幅広いニーズに対応するための以下の各種講座を開催した。

・博物館講座 全10回、古文書入門講座 全4回、館長講座 全4回など

④ ボランティア事業

敷地ガイドや常設ガイド、体験の広場のプログラムの実施・補助として活動するボランティアを養成するとともに、その活動を支援した。さらに、「春の税関まつり」(4/13)をはじめ、ボランティアによる自主事業を多数開催した。登録者数111人。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」(3回)、年報などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図った。

① 地域連携事業の実施

博物館近隣の市民団体や国・県などと共催で、新潟の港や下町のPRを目的に以下の事業を企画・開催した。

堀とさくらのコンサート(4/14)、夕涼みコンサート(8/17)、みなと・しもまち・川まつり(8/25)

② みなとぴあファンクラブ

博物館の情報を定期的に会員に向けて提供した。また、会員向けの企画展鑑賞会・まちあるき「海風感じる新潟坂道あるき」(10/6)・館長バスツアー「寺泊・海物語 寺泊から見る新潟の近代化」(6/16)・館長講演会「博徒と抗争」(12/8)・学芸員による講座「美術を楽しむ一行田魁庵」(2/11)を実施した。

(5) 調査研究事業

主に企画展示や収蔵品展に関連した調査・研究を実施した。

そのほか、学芸員の専門分野における研究や館活動を通じた資料調査も随時行い、その成果

【資料1】

は博物館講座を通じて市民に報告・還元するとともに、主なものを『研究紀要16号』にまとめた。

(6) 資料整理事業

寄贈を受けたり、購入したりした歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行った。

① 保存環境管理

館蔵資料の長期保存のため、展示室やケースなどの展示施設をはじめ、収蔵施設である本館収蔵庫・旧木場小学校、板井保育園等について、各種の保存環境調査や清掃、防虫対策のためのくん蒸など、IPMに則った各種の保存環境管理を行った。

② 資料収集整理

地域の歴史を語る資料を収集するとともに、資料を管理し活用するために、資料の基礎的データや資料の詳細情報を調査・記録した。

(7) 自主事業「歴史発見プロジェクト」

新潟の歴史に親しみ、自らが歴史を発見する喜びを知ってもらうため、歴史を題材とした以下の自主事業を行った。

① 企画展

「地図と古写真で見る“新潟の文明開化”」

明治元年の開港後、近代化の中で新潟がどのように移り変わってきたのか、その様子を地図と古写真によって視覚的にたどる。

※みなとの博物館ネットワーク・フォーラム助成事業

開催期間 令和元年12月21日～令和2年2月2日 32日間

観覧者数 1,971人（無料観覧者）

② 史楽講座

令和改元に関連し、「古代国書の魅力をさぐる-万葉集・日本書紀・竹取物語-」をテーマに全3回の講座を行った。

③ 中級古文書演習

実際の古文書を読むため、全20回の実践向け演習を行った。

④ こども歴史クラブ

小学生を対象にクラブ員を募り（会員40名）、古代から近現代までの人々の暮らしに関わる体験プログラムを計11回実施した。

(8) 自主事業「文化庁 博物館クラスター形成支援事業」

文化庁の助成事業を受託し、「新潟開港150年 新潟古町の記憶と魅力発信事業」を当館に事務局を置く、みなと新潟実行委員会で実施した。事業内容は次の通り。

① みんなの古町プロジェクト

大人を対象（34人参加）に、歴史学習やまちあるきを通して古町の記憶や魅力を探り出し、その成果をまとめてパネルを製作し、展示公開した。

② にいがた古町「いまむかしカルタをつくろう」

小学生を対象（20人参加）に、歴史学習やまちあるきを通し、子ども目線で発見した古町

【資料1】

のおもしろいポイントを読み札と絵札にしてカルタ 300 セットを製作した。

③ 「復活！白山詣で 江戸のにぎわい再現」

江戸時代、白山神社の祭礼の日に行われていた芸妓たちの参詣の行列の一部を再現する。

開催日 令和2年3月20日

会場 古町通7番町～5番町、新潟白山神社

④ 関連講演会

「古町の歩み～その誕生と発展、役割の移り変わり」(7/15、会場：クロスパルにいがた)、
「復活！白山詣で プレ講演会」(2/2、会場：市民プラザ)を実施した。

2 文化施設管理受託事業

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等の管理運営を行った。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行った。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

■令和元年度歴史博物館入館者数 85,193 人(1月末現在) ※昨年同時期 90,831 人

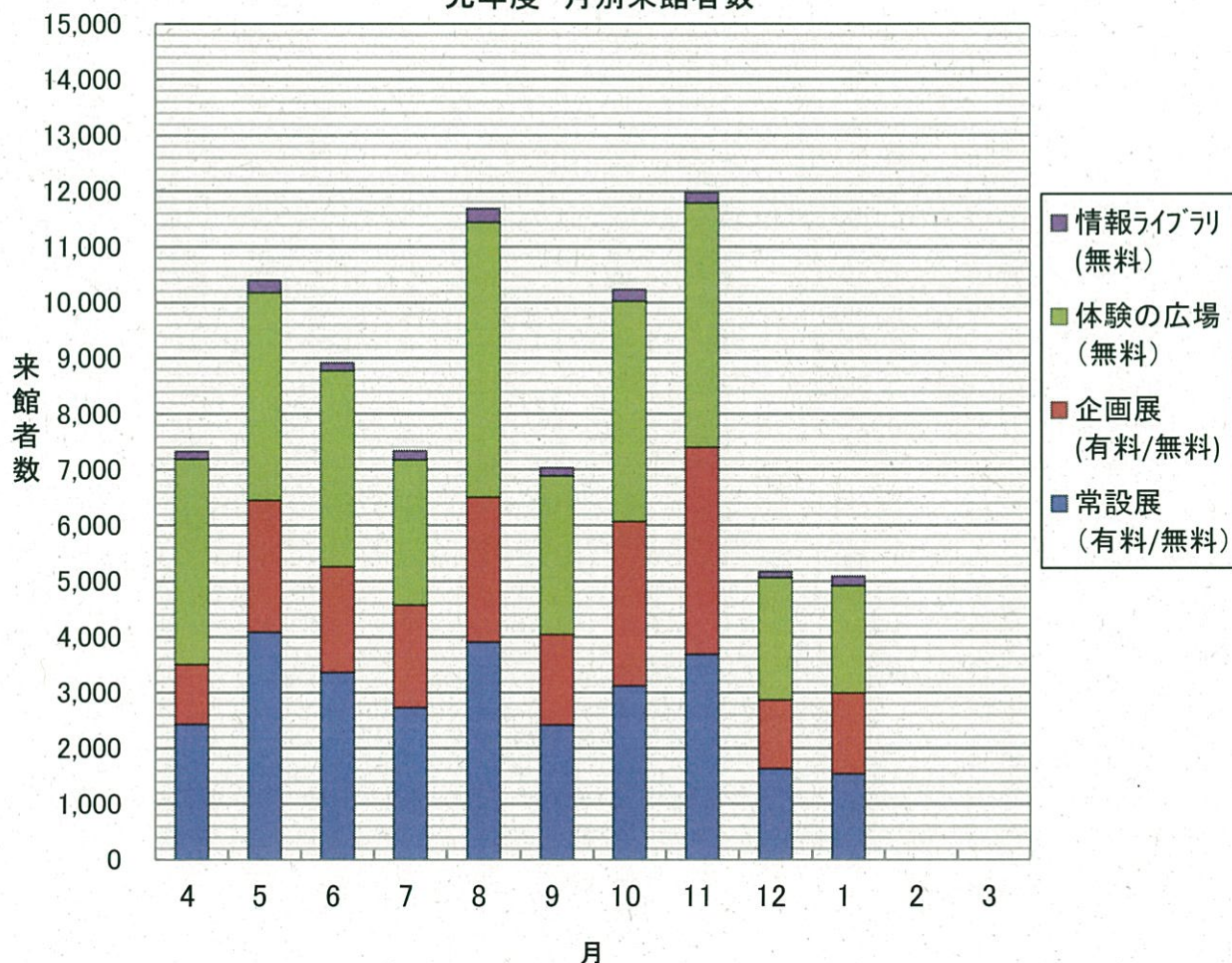
令和元年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	R1月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	2,438	1,071	3,681	140	7,330	282
5	27	4,090	2,367	3,726	218	10,401	385
6	26	3,369	1,898	3,515	138	8,920	343
7	20	2,735	1,841	2,606	161	7,343	367
8	28	3,912	2,601	4,927	246	11,686	417
9	25	2,428	1,625	2,838	148	7,039	282
10	27	3,128	2,951	3,948	210	10,237	379
11	26	3,695	3,715	4,383	180	11,973	461
12	23	1,640	1,231	2,196	105	5,172	225
1	24	1,545	1,454	1,925	168	5,092	212
2						0	#DIV/0!
3						0	#DIV/0!
計	252	28,980	20,754	33,745	1,714	85,193	

*企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」899人(R1.6.30現在)を含む

元年度 月別来館者数



【資料2】

＜参考＞平成30年度 歴史博物館 来館者内訳

○月別来館者数

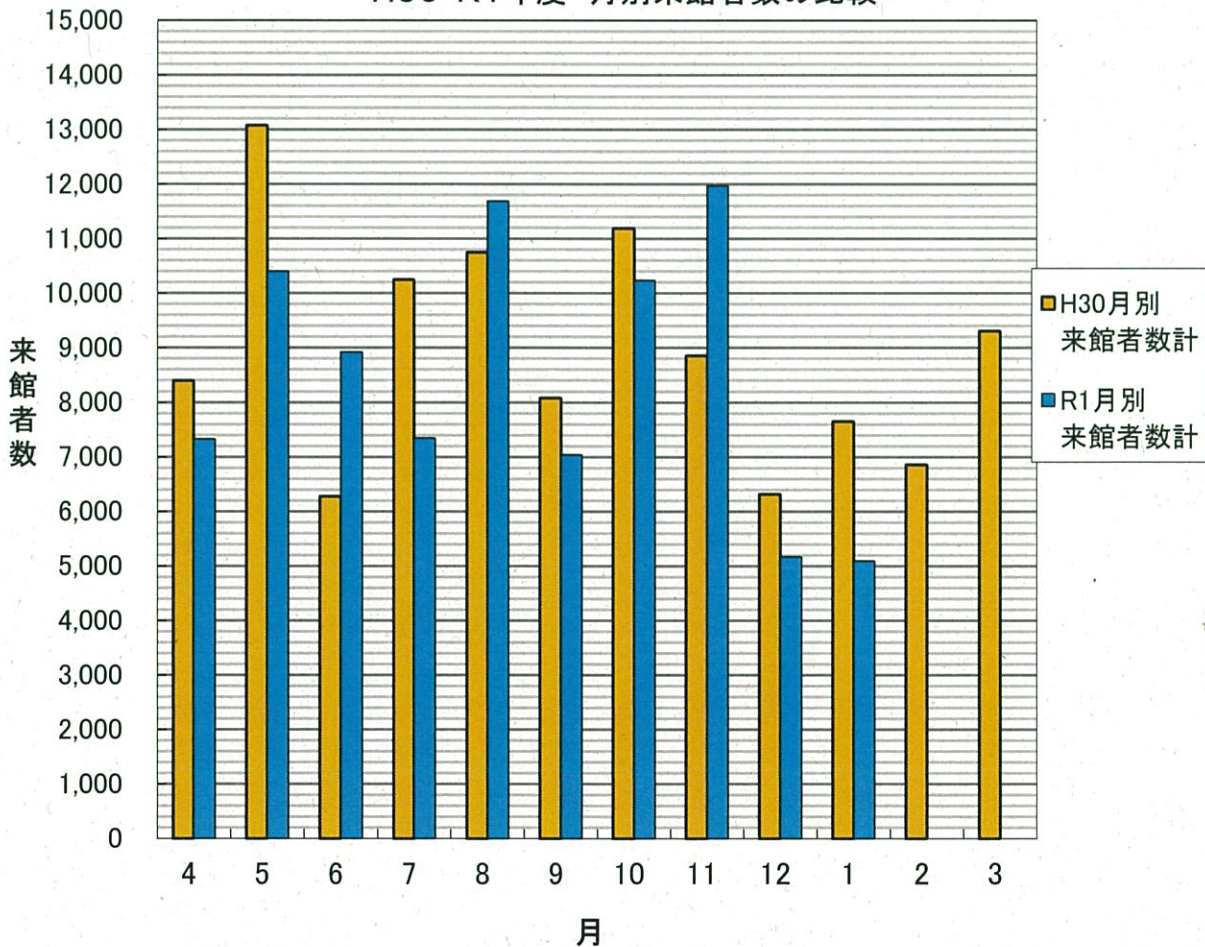
月	開館日数	常設展 (有料/無料)	企画展 (有料/無料)	体験の広場 (無料)	情報ライブラリ (無料)	H30月別 来館者数計	1日平均 来館者数
4	26	2,854	2,288	3,036	218	8,396	323
5	26	4,933	4,526	3,324	291	13,074	503
6	20	2,725	1,611	1,823	115	6,274	314
7	27	3,282	2,310	4,400	254	10,246	379
8	28	3,807	2,612	4,117	215	10,751	384
9	28	3,248	1,507	3,152	174	8,081	289
10	27	4,368	3,005	3,637	180	11,190	414
11	26	3,306	2,328	3,053	166	8,853	341
12	23	1,542	2,109	2,526	138	6,315	275
1	21	1,334	2,604	3,530	183	7,651	364
2	21	1,537	2,949	2,248	122	6,856	326
3	26	2,336	3,227	3,523	220	9,306	358
計	299	35,272	31,076	38,369	2,276	106,993	

*上記企画展の来館者には、貸館による「現代工芸展」904人を含む

*上記企画展の来館者には、旧税関での企画展「旧新潟税関庁舎と史跡」展5,086人は含まず

*平成30年度来館者総計 112,079人（「旧新潟税関庁舎と史跡」展5,086人含んだ場合）

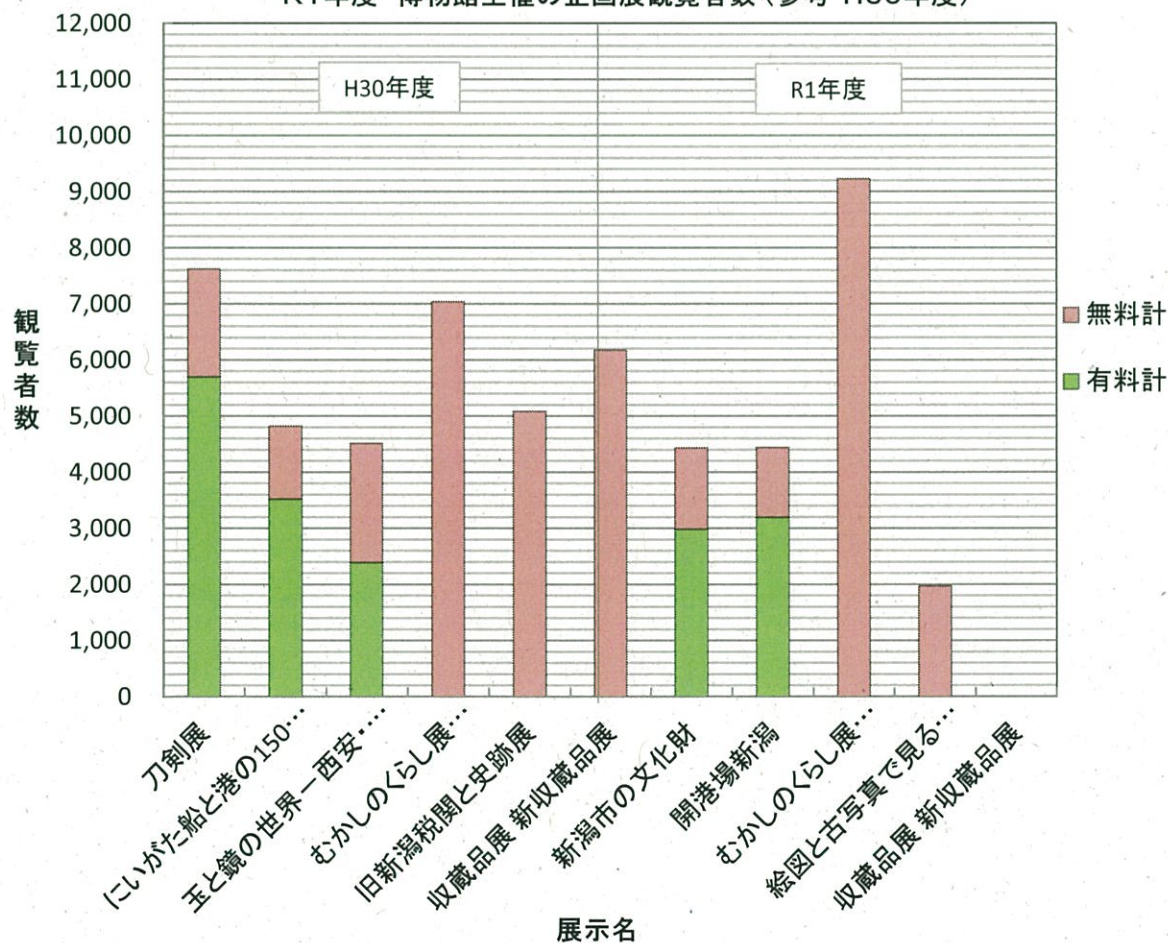
H30・R1年度 月別来館者数の比較



R1年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 H30年度）

	企画展名	会期	開館日数	合計	有料計	個人	団体	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	日平均
H30年度	刀剣展	4.14～6.3	44	7,621	5,703	4,180	1,523	1,918	274	385	173
	にいがた船と港の150年展	7.14～8.19	33	4,822	3,526	2,051	1,475	1,296	116	391	146
	玉と鏡の世界—西安・新潟友好交流特別展	9.15～10.28	41	4,512	2,394	1,560	834	2,118	1,325	132	110
	むかしのくらし展「容れ物」	11.10～1.27	62	7,041	0	0	0	7,041	1,519	0	114
	旧新潟税関と史跡展	1.12～3.17	50	5,086	0	0	0	5,086	0	0	102
	収蔵品展 新収蔵品展	2.9～3.17	32	6,176	0	0	0	6,176	0	0	193
R1年度	新潟市の文化財	4.13～6.16	57	4,437	2,989	1,858	1,131	1,448	499	186	78
	開港場新潟	7.13～8.25	39	4,442	3,199	1,920	1,279	1,243	110	495	114
	むかしのくらし展「布とむかしのくらし」展	9.14～12.8	74	9,231	0	0	0	9,231	2,151	0	125
	絵図と古写真で見る「新潟の文明開化」	12.21～2.2	32	1,971	0	0	0	1,971	166	0	62
	収蔵品展 新収蔵品展	2.15～3.22	32	0	0						0

R1年度 博物館主催の企画展観覧者数（参考 H30年度）



【資料3】

平成31年(令和元年)度事業報告 旧小澤家

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

1 文化事業

指定管理の受託事業者として旧小澤家住宅の設置目的に基づき、常設展示とともに企画展事業や教育普及事業などを積極的に開催し、来館者の増加に努めた。

なお、事業の開催に当たってはボランティアの皆さんからガイドを行っていただいた。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業

【常設展示】

旧小澤家住宅の概要と小澤家の来歴、そして「みなとまち新潟」の歴史や生活文化について、グラフィックパネルで紹介した。

【企画事業】

旧小澤家住宅の雰囲気と風合いに合わせた日本の伝統的な工芸品展などを開催した。

① 「むかしの子ども服」展

小澤家ゆかりの子ども服を展示し、着るものの形からむかしの暮らしの一端を紹介した。

開催期間 平成31年4月6日(土)～4月21日(日)

観覧者数 414人(有料観覧者381人、無料観覧者33人)

② GW特別企画「端午の節句飾りと小澤家ゆかりの品々」展

端午の節句に合わせて、節句飾りなど小澤家に伝わる品々を展示した。

開催期間 平成31年4月27日(土)～令和元年5月19日(日)

観覧者数 1,490人(有料観覧者1,332人、無料観覧者158人)

③ 「屏風と掛け軸」展

旧小澤家住宅の風合いにあった屏風と掛け軸を展示した。

開催期間 令和元年6月1日(土)～6月16日(日)

観覧者数 475人(有料観覧者459人、無料観覧者16人)

④ 「東日本大震災と海のゴミ」展

防災意識及び海洋ごみ問題の普及啓発のため、東日本大震災と漂着ごみについてのパネルを展示した。また、市内でビーチコーミングをされている方より、新潟の浜に流れ着いた漂着物を借用し展示した。

協力：一般社団法人 JEAN

開催期間 令和元年7月6日（土）～7月15日（月）

観覧者数 439人（有料観覧者389人、無料観覧者50人）

⑤ 「二代目小澤七三郎と旅行」展

夏休みの旅行シーズンにあわせて、二代目小澤七三郎の旅先での思い出をとりあげた。

開催期間 令和元年年7月27日（土）～9月1日（日）

観覧者数 955人（有料観覧者832人、無料観覧者123人）

⑥ 「ふろしき」展

小澤家に伝わる古いふろしき、日本各地の伝統のふろしき、新潟の織物などを館内のしつらいに合わせて展示した。

9月14日（土）から29日（日）まで、歴史博物館の企画展「布とむかしのくらし」展にあわせて、旧小澤家住宅と歴史博物館のセット券購入者に、小須戸縞で作ったブックマーカーと、ふろしきの活用方法を書いたしおりをプレゼントした。

協力：ふろしきや

開催期間 令和元年9月7日（土）～9月29日（金）

観覧者数 988人（有料観覧者929人、無料観覧者59人）

⑦ 「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展

新潟市の伝統的工芸品である新潟仏壇と、それに係る工芸について紹介した。

新潟県内の手漉き和紙と、それを使った作品も展示した。

共催：新潟仏壇組合・越後生紙振興会

開催期間 令和元年10月22日（火）～11月10日（日）

観覧者数 1,249人（有料観覧者588人、無料観覧者661人）

⑧ ボランティア企画「小澤家の人びと」展

旧小澤家住宅のガイドボランティアによる企画展。小澤家の人びとをテーマに、歴史や魅力を紹介した。

開催期間 令和元年11月23日（土）～令和2年2月2日（日）

観覧者数 1,433人（有料観覧者1,271人、無料観覧者162人）

⑨ 「ひな人形とからくり人形」展

新潟島の主な文化施設などと共同で実施する雛人形・町めぐり企画に併せて開催する。

当館所蔵の雛人形や新潟ハイカラ文庫所蔵のからくり人形などを展示する。

共催：新潟ハイカラ文庫

開催期間 令和2年2月22日（土）～3月22日（日）

(2) 教育普及事業

旧小澤家住宅を通して新潟の歴史や文化に関する「学び」と「楽しみ」を提案するため、

【資料3】

様々な催し物の開催とともに体験学習を実施した。

- ① 掛け軸講座・・・6月8日(土)
専門家を講師に招いて、掛け軸の取り扱い方について学んだ。
- ② 大徳寺真珠庵襖絵 トークイベント・・・6月16日(日)
大徳寺真珠庵の住職によるトークイベントと座禅体験を開催した。
- ③ 庭園講習会・・・6月29日(土)、11月2日(土)
夏場と冬場に向けた庭木の手入れについて、当館庭師による講習会を実施した。
- ④ 立川志の彦 落語会・・・7月20日(土)
落語家による親子向けと一般向けの落語会を開催した。
- ⑤ 「旧小澤家住宅に泊まろう！」・・・8月4日(日)、5日(月)
近隣小学校の児童を対象に、かつての生活様式(蚊帳つり、銭湯、御膳)の一端を学び取ってもらう事を目的に開催した。
- ⑥ ふろしき講座・・・9月14日(土)、15日(日)
「ふろしき」展の関連企画として、ふろしきの活用講座を実施した。
- ⑦ 新潟ふろしきと佐渡おけさ踊り隊・・・9月16日(月)
「ふろしき」展の関連企画として、新潟まつりの「佐渡おけさ踊り隊」の指導による、佐渡おけさワークショップを行った。新潟ふろしきで作った浴衣も披露した。
- ⑧ 崑八家五円 落語口演「風呂敷」・・・9月22日(日)
「ふろしき」展の関連企画として、落語家による落語「風呂敷」の口演会を行った。
- ⑨ 新潟仏壇工芸・越後生紙ワークショップ・・・10月26日(土)、27日(日)、11月2日(土)、3日(日)、4日(月)、9日(土)、10日(日)
「新潟仏壇工芸」展・「越後生紙」展の関連企画として、それぞれの職人によるワークショップ(金具打ち・蒔絵塗、青写真作り、和紙折染め・六角提灯作り)を開催した。
- ⑩ フラワーアレンジメント「テーブルにかざる小さなクリスマスツリー」・・・12月8日(日)
クリスマス用のテーブルアレンジメントの製作体験を行った。
- ⑪ お正月の玄関飾り・・・12月14日(土)
お正月に玄関に置けるまゆ玉飾りの製作体験を行った。
- ⑫ 稲穂で作る正月飾り・・・12月15日(日)
稲穂などの自然の素材を使った正月飾り作りの教室を開催した。
- ⑬ 稲わらでつくるひな人形・・・2月22日(土)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、稲わらを使ったひな人形作りの教室を開催した。
- ⑭ フラワーアレンジメントワンディレクشن・・・2月23日(日)
「ひな人形とからくり人形」展および「花で彩る」の関連企画として、ひなまつりをイメージしたフラワーアレンジメントの製作体験を開催した。
- ⑮ 江戸「からくり人形」実演会・・・2月29日(土)、3月1日(日)
「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として、江戸時代から伝わる技術で作ったか

らくり人形を紹介した。

⑯ 春の酒づくし・・・3月20日(金)、21日(土)、22日(日)

日本酒とおつまみを楽しんでもらいながら、みなとびあ学芸員、小売店主、バーテンダーが日本酒に関する講座を開催する。落語家による、酒をテーマにした落語の口演会も開く。

⑰ ボランティアガイド事業

旧小澤家住宅のボランティアガイドによる勉強会を8回実施すると共に、ボランティア企画展「小澤家の人びと」展を開催した。

(3) 施設普及事業

旧小澤家住宅での様々な楽しみ方を提案するため、時候に合わせた「しつらい」とともに催し物を実施した。

また、事業取組の参考とするため、来館者ニーズのアンケート調査を実施した。

① 山野草の展示・・・5月11日(土)～21日(火)

旧小澤家住宅の風合いを来館者から楽しんでもらうため、通り土間にさまざまな山野草を展示した。

② 藤見煎茶会・・・5月11日(日)

藤の花の咲く季節に合わせ、藤ノ間において煎茶会(煎茶道東阿部流)を開催した。

③ 夏至祭・・・6月22日(土)、23日(日)

夏の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、夏至の日に合わせて音楽や飲食を提供した。なお、和服での来館者は入館料を無料とした。

非公開部分(離れ座敷、奥座敷二階)の公開、庭園のライトアップ(23日20時まで)

④ 湊下町展「町灯篇」・・・11月16日(土)

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」との共催で開館を20時まで延長し、周辺のライトアップを行った。

また、来館者へは煎茶道東阿部流の協力による抹茶販売を行った。

⑤ 秋の大文化祭・・・11月23日(土)

秋の町家の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、文化祭を開催して音楽や飲食を提供した。

非公開部分(離れ座敷、奥座敷二階)の公開、庭園のライトアップ(20時まで)

⑥ 年忘れ煎茶会・・・12月21日(土)

年末の煎茶会(煎茶道東阿部流)を開催した。

⑦ 花で彩る・・・2月15日(土)～24日(月)

ひなまつりをテーマに、館内にフラワーアレンジメントを展示した。

⑧ 小澤家ごっつおランチ・・・2月15日(土)

小澤家住宅の雰囲気と、新潟らしい食事、旧小澤家住宅周辺で買える新鮮な食材を楽しんでもらうため、食事会を開催した。

【資料3】

今回は器をテーマに、当館学芸員による講演も行った。

⑨ 箏の演奏会・・・2月24日(月)

旧小澤家住宅の春の雰囲気由来館者から楽しんでもらうため、「ひな人形とからくり人形」展の関連企画として箏の演奏会を開催した。

(4) 調査研究事業

みなとまち新潟に対する市民の理解を深めるため、小澤家文書や小澤家より寄贈された資料を調査し、その成果を「小澤家ゆかりの品々」展、「小澤家の人びと」展で紹介した。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に、賛助会員として参加した。

(5) 収蔵資料保存管理事業

資料の仮整理・収蔵作業を行った。

2 文化施設管理受託事業

指定管理の受託事業者として新潟市文化財旧小澤家住宅の適正な維持管理運営を行い、来館者および利用者へのサービスの向上に努めた。

※ 平成31年度 旧小澤家住宅入館者数・・・令和2年1月末現在
13,962人（対前年度比92.9%）

○ 旧小澤家住宅の付帯事業

旧小澤家住宅では、新潟漆器、ふろしき、布製バッグなどを委託で販売し、季節に合わせてこまめに商品の入れ替えを行っている。

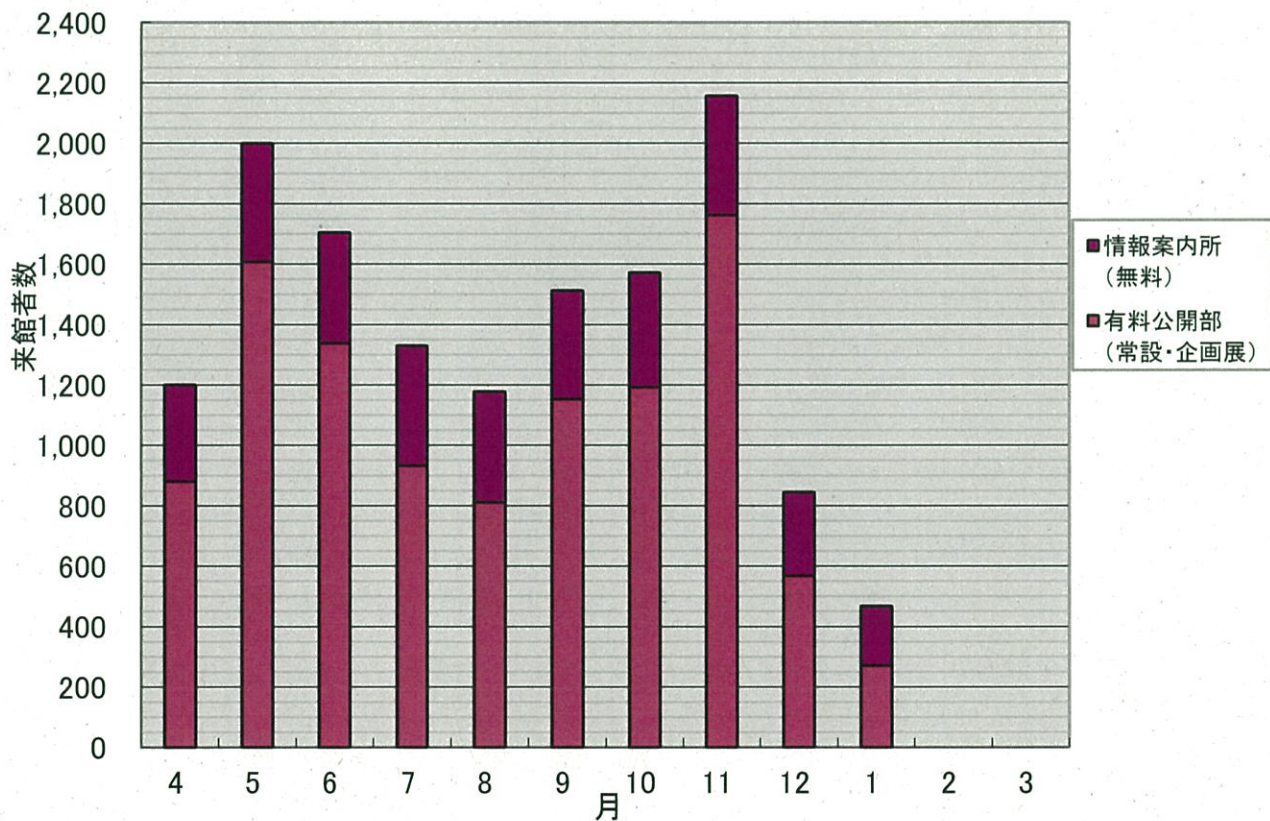
当館はオリジナル商品として、箸置き、つま楊枝、お菓子、手ぬぐいなどの開発・販売にも力を入れ、令和元年度からはTシャツとトートバッグの販売を始めた。

令和元年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数(1月末現在)

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	R1月別 来館者数計	R1日平均 来館者数	備考
4	26	880	320	1,200	46	
5	27	1,608	391	1,999	74	
6	26	1,338	366	1,704	66	
7	26	932	397	1,329	51	
8	27	811	367	1,178	44	
9	25	1,153	359	1,512	60	
10	25	1,193	379	1,572	63	
11	25	1,763	394	2,157	86	
12	23	568	276	844	37	
1	16	271	196	467	29	
2	24			0	0	
3	25			0	0	
計	295	10,517	3,445	13,962	46	

元年度月別来館者数

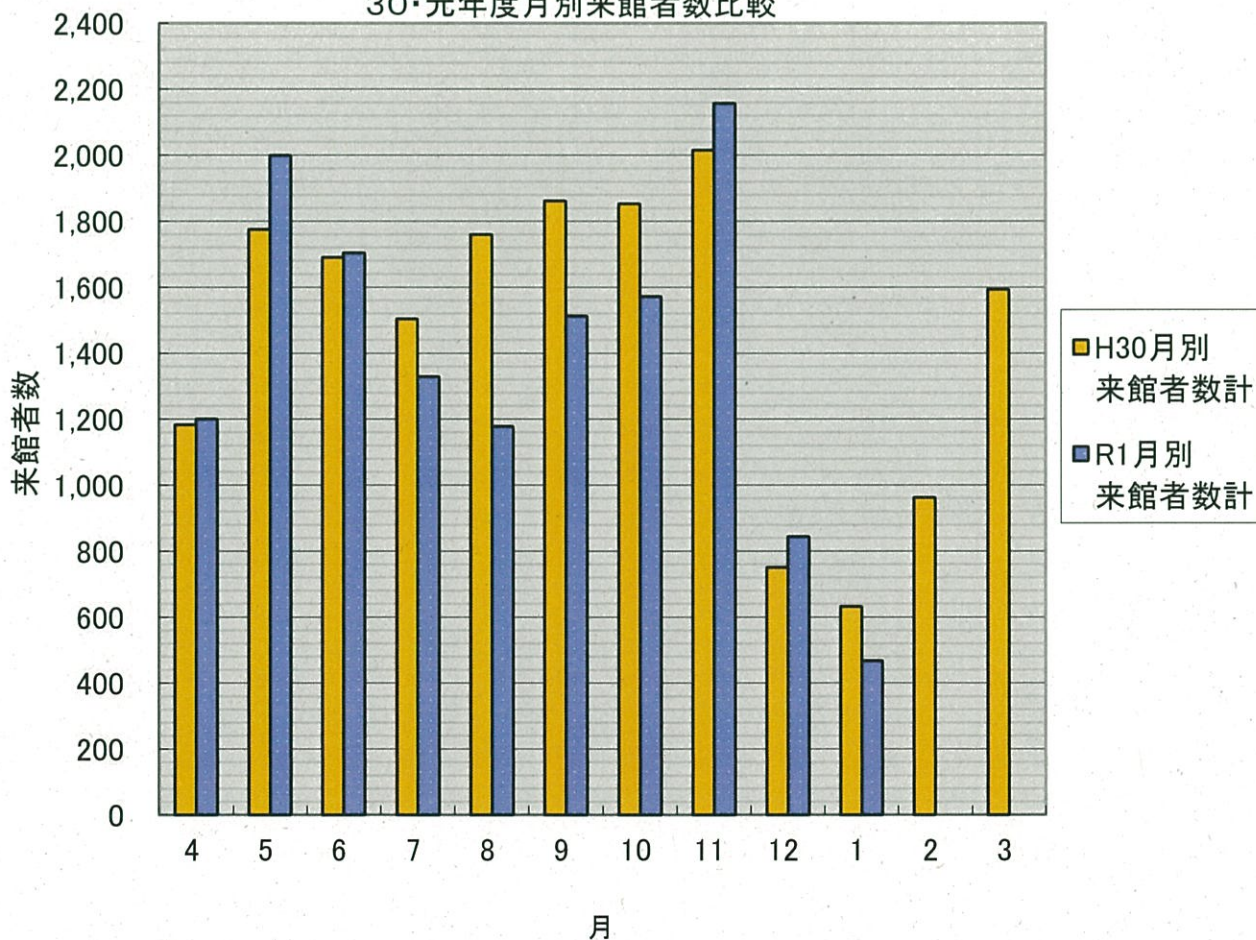


平成30年度 旧小澤家住宅 来館者内訳

○月別来館者数

月	開館日数	有料公開部 (常設・企画展)	情報案内所 (無料)	H30月別 来館者数計	H30日平均 来館者数	備考
4	26	827	356	1,183	46	
5	26	1,266	509	1,775	68	
6	20	1,334	356	1,690	85	
7	27	1,089	415	1,504	56	
8	28	1,329	430	1,759	63	
9	26	1,402	459	1,861	72	
10	25	1,161	691	1,852	74	
11	24	1,593	422	2,015	84	
12	23	547	203	750	33	
1	24	413	219	632	26	
2	24	715	247	962	40	
3	26	1,274	319	1,593	61	
計	299	12,950	4,626	17,576	59	

30・元年度月別来館者数比較

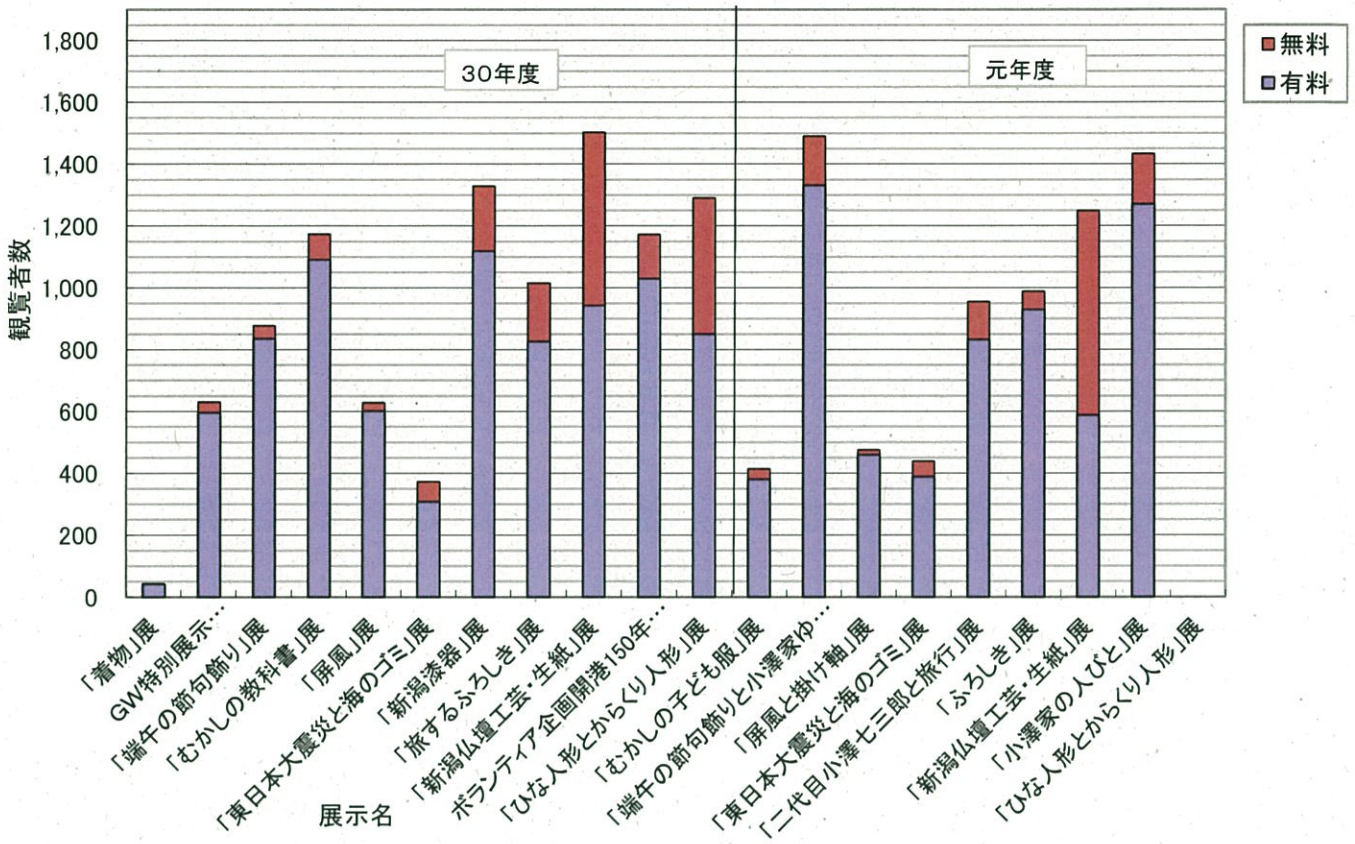


R1年度 旧小澤家住宅 企画展観覧者数(参考30年度)

	企画展名	会期	合計	有料計	個人	団体・ セット券	無料計	うち授業	うち小中 土日無料	開館 日数	日平均
30 年度	「着物」展	H30.4.1～4.1(1日間)	43	42	17	25	1			1	43
	GW特別展示 「小澤家ゆかりの品々」	H30.4.28～5.6(9日間)	630	596	216	380	34	2		9	70
	「端午の節句飾り」展	H30.4.28～5.13(14日間)	877	835	288	547	42	2		14	63
	「むかしの教科書」展	H30.5.19～6.10(20日間)	1,174	1,091	526	565	83		22	20	59
	「屏風」展	H30.6.19～7.1(12日間)	628	601	212	389	27			12	52
	「東日本大震災と海のゴミ」展	H30.7.7～7.16(9日間)	372	308	109	199	64	38	2	9	41
	「新潟漆器」展	H30.8.1～8.31(28日間)	1,329	1,119	384	735	210	16	13	28	47
	「旅するふろしき」展	H30.9.11～9.30(18日間)	1,015	826	246	580	189		4	18	56
	「新潟仏壇工芸・生紙」展	H30.10.16～11.11(23日間)	1,503	943	364	579	560	12	13	23	65
	ボランティア企画開港150年記念 「小澤家とみなと」展	H30.12.1～H31.2.11(57日間)	1,172	1,030	397	633	142		13	57	21
「ひな人形とからくり人形」展	H31.2.23～3.17(20日間)	1,291	849	388	461	442		27	20	65	
31 年度	「むかしの子ども服」展	H31.4.6～4.21(14日間)	414	381	181	200	33		2	14	30
	「端午の節句飾りと小澤家ゆかりの品々」展	H31.4.27～5.19(21日間)	1,490	1,332	417	915	158	10	19	21	71
	「屏風と掛け軸」展	R1.6.1～6.16(14日間)	475	459	161	298	16		1	14	34
	「東日本大震災と海のゴミ」展	R1.7.6～7.15(9日間)	439	389	153	236	50		12	9	49
	「二代目小澤七三郎と旅行」展	R1.7.27～9.1(32日間)	955	832	241	591	123		47	32	30
	「ふろしき」展	R1.9.7～9.29(20日間)	988	929	310	619	59		12	20	49
	「新潟仏壇工芸・生紙」展	R1.10.22～11.10(17日間)	1,249	588	224	364	661		46	17	73
	「小澤家の人びと」展	R1.11.23～R2.2.2(47日間)	1,433	1,271	580	691	162		25	47	30
「ひな人形とからくり人形」展	R2.2.22～3.22(26日間)	0	0						26	0	

【資料4】

令和元年度 旧小澤家住宅の企画展観覧者数（参考 30年度）



令和2年度事業計画 博物館

○ 新潟市歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等

1 文化事業

「新潟市域の歴史的特性を明らかにし、市民の歴史に対する理解を深めると共に、歴史を媒介とした市民交流を行うことにより、市民の社会的活動及び文化的活動に寄与する。」という博物館の設置目的を達成するため以下の各種事業を行う。

(1) 展示運営更新

常設展示室の部分展示替え等により情報内容を更新する。

(2) 企画展示事業

興味深いテーマを設定し、地域の歴史・文化を楽しく分かりやすく市民に伝える展示を行う。今年度は指定管理事業として以下の4本の企画展を開催する。

① 「いっぴん」展

開催期間 令和2年4月11日～6月7日 50日間

みなとびあの収蔵品の中から各学芸員がおすすめる「いっぴん」を選び、見どころとともに紹介する。

② 「潟のくらし」展

開催期間 令和2年7月11日～8月23日 38日間

新潟市域の潟や周辺の低湿地を活かしつつ営んできた先人の暮らしを振り返るとともに、潟をめぐる歴史・生物・地質など各分野の知見を紹介する。

③ 第17回むかしのくらし展「新潟の昭和」

開催期間 令和2年9月12日～11月3日 47日間

令和へと改元され、子どもたちにとっては遠い過去の時代となった昭和を取り上げ、その時代の新潟の人々の暮らしや風俗、町の様子などを紹介する。

④ 収蔵品展・新収蔵品展

開催期間 令和3年2月13日～3月28日 36日間

館収蔵資料を効果的に公開するため、テーマを設けて資料を紹介する収蔵品展と、令和2年度に新たに受け入れた資料を紹介する新収蔵品展を開催する。

⑤ その他

次年度に開催予定の企画展の準備を行う。(印刷物の作成等)

※このほか、自主事業による企画展を開催する。

(3) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、

【資料5】

学校等の教育活動を提案したりするとともに、レファレンス用開架図書を追加する。

① 体験の広場事業

小学生や家族連れを主な対象として、「つかう」、「しらべる」、「つくる」という機能を持つ、3つの広場「昔の暮らしに触れる場」、「情報学習の場」、「創作活動の場」での体験プログラムを、土・日・祝日を中心に年50回程度開催する。

また、夏休み向けの体験や大人を対象とした体験プログラムなど、対象を設定した体験プログラムも織り交ぜて行く。

② 博・学連携事業

小学校・中学校の見学に際し展示解説等の対応を行うとともに、新潟大学と連携して当館学芸員の寄附講義や大学生の実習受入れを行う。学校のニーズに応じて出前授業にも対応する。

③ 講座事業

調査研究事業の成果を公開し、新潟の歴史や文化に関する「学び」や「楽しみ」を提案するため、幅広い年齢層や個別のニーズに対応する以下の各種講座を開催する。

- | | |
|----------|--------------------------|
| ・博物館講座 | 年9回（4、12月、3月を除く各月の第3日曜日） |
| ・館長講座 | 全4回（3/7・14・21・28） |
| ・古文書入門講座 | 全4回（開催日調整中） |

④ ボランティア事業

常設展示解説、敷地解説、体験の広場プログラムでのボランティア活動を支援するとともに、館の顔としてスキルアップを図る。またボランティア活動への新規希望者に向けた研修を行う。

※このほか、自主事業による教育普及事業を実施する。

(4) 施設普及事業

博物館の活動を広く市民に知ってもらうため、リーフレットや「博物館ニュース」などの出版物を作成し、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行うとともに、以下の事業を実施し、博物館の利用推進を図る。

① 地域連携

地元市民団体と共催し、博物館を会場に野外コンサートや夏祭りなどのイベントを開催する。

② みなとびあファンクラブ

「みなとびあファンクラブ」会員を対象とした事業を行う。講演会や企画展鑑賞会、史跡探訪ツアーや新潟市内の街歩きなどを開催する。

(5) 調査研究事業

市民の関心を呼び起こすテーマの探求や博物館活動の発展のために、調査研究活動を行う。

【資料5】

当館の基本テーマである「湊と湊町」「低湿地の暮らし」に合わせた調査・研究を基本とし、そのほか学芸員が各自のテーマで調査・研究を実施する。そうした成果を博物館講座等で市民に報告するとともに、研究紀要として刊行する。

(6) 資料整理事業

寄贈や購入などにより受け入れた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用することを目的に、以下の事業を行う。

① 保存環境管理

歴史資料を長期保存するための資料保全・環境整備。

新規収集資料の燻蒸・殺虫処置や、博物館収蔵庫・石庫・新潟市文化財センター・旧木場小学校・旧板井保育園等に所蔵する資料を、よりよい状況で保存するための IPM をはじめとする資料保存環境の管理に努める。

② 資料収集整理

地域の歴史資料を収集するとともに、資料を保存管理するための基礎的データや資料活用するための資料情報を調査・記録し、データベース化する整理作業を行う。併せて、資料の保存のためのクリーニング・養生などの処置を行う。

(7) 自主事業「みなとぴあ歴史発見プロジェクト」

平成 27 年度から実施している自主事業で、こどもからおとなまで幅広く、みなとまち新潟の歴史に親しみ、自ら歴史を発見する喜びを知ってもらい、開港 150 周年を迎えた新潟の街をみんなで盛り上げていこうというもの。事業実施に当たり、地域の企業・団体から協賛金をいただくなど自主財源を確保し、以下の事業を行う。

① 企画展

「生誕 320 年 五十嵐浚明」展

開催期間 令和 2 年 11 月 14 日～12 月 27 日 38 日間

新潟町に生まれた江戸時代中期の絵師・五十嵐浚明の生誕 320 年を記念し、新潟で大切にされてきた作品をはじめ、各地に残る作品を広く集めて紹介する。

② 史楽講座

歴史好きの市民に向け、テーマに沿った話を様々な視点で分かりやすく語ってもらう連続講座。全 4 回で開催予定。

③ 中級古文書演習

「字のくずしだけでなく、実際の古文書を読んでみたい」「もう少し難しい古文書を解読したい」そんな方にお勧めの宿題あり、予習・復習必須のゼミ形式で古文書を学ぶ。

全 20 回の講座。4～3 月の間、第 2、第 4 水曜日の午前・午後に開講。定員 30 人。

④ みなとぴあこども歴史クラブ

小学生を対象に、古代から現代までの人々の暮らしと生活の一端をプログラム化して、体験してもらうことで、歴史を身近に感じ、かつての暮らしや文化財保護を考えるきっかけづくりを行う。

毎月第 3 日曜日に実施 全 11 回 40 人程度募集

⑤ 大人の体験プログラム

【資料5】

大人が楽しめる歴史・文化にかかわる体験イベントを企画・実施する。

2 文化施設管理受託事業

歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等管理事業

市民に親しまれる博物館を目指して、利用者へのサービスの向上に努め、歴史博物館及び旧新潟税関庁舎等に加え、信濃川左岸緑地の管理運営を行う。

(1) 歴史博物館管理事業

- ① 博物館本館（常設展示室、企画展示室、ミュージアムシアター、体験の広場、セミナー室、情報ライブラリー等）
- ② 旧第四銀行住吉町支店（応接室、会議室、日本間）
- ③ 屋外施設（広場、堀、園路等）

(2) 旧新潟税関庁舎等管理事業

- ① 旧新潟税関庁舎
- ② 史跡（石段、石積み、石庫等）

(3) 信濃川左岸緑地管理事業

3 付帯事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、歴史に関する書籍やグッズ類を扱ったショップの運営や自動販売機の設置を行う。

- ① 物販等ショップの運営
- ② 自動販売機設置

令和2年度事業計画 旧小澤家住宅

○ 新潟市文化財旧小澤家住宅

1 文化事業

指定管理の受託事業者として、小澤家住宅の設置目的に基づき以下の各種事業を行う。

【旧小澤家住宅の設置目的】

市文化財に指定された旧小澤家住宅を活用し、みなとまちとしての本市の歴史、生活文化、観光資源等に関する情報の提供等を行うことにより、みなとまち新潟に対する市民の理解を深め、市民相互の交流を推進し、もって市民文化の向上及び地域の活性化に寄与する。

(1) 常設展示・企画事業

【常設展示】

みなとまち新潟の歴史・生活文化並びに旧小澤家住宅や小澤家の概要について、グラフィックパネル等で紹介する。

【企画展示】

- ①桜井進一氏写真展「新潟むかし：昭和の記憶・他門川」
開催期間 令和2年4月4日（土）～5月10日（日）
桜井進一氏が撮影した他門川の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧する。
- ②ミニ企画展「端午の節句飾り」展
開催期間 令和2年4月25日（土）～5月6日（水）
小澤家に伝わる端午の節句飾りを展示する。
- ③「和時計」展
開催期間 令和2年5月23日（土）～6月14日（日）
時香盤や和時計を展示し、日本の時計について紹介する。
協力：新潟ハイカラ文庫
- ④「着物」展
開催期間 令和2年6月20日（土）～7月19日（日）
小澤家で使用された着物を展示紹介する。
協力：大嶋屋
- ⑤「みんなの問題・海のごみ」展
開催期間 令和2年7月18日（土）～8月2日（日）
一般社団法人JEAN所蔵の海ゴミ問題啓発に関する写真パネルを展示する。
協力：一般社団法人JEAN
- ⑥「うちわ」展
開催期間 令和2年7月25日（土）～8月30日（日）
夏にあわせて、当館所蔵のうちわを展示紹介する。

【資料6】

⑦夏の寝間展示

開催期間 令和2年8月8日(土)～8月23日(日)

夏にあわせて、寝室だった寝間に蚊帳を吊って演出する。

⑧「ふろしき」展

開催期間 令和元年9月5日(土)～9月27日(日)

むかしの道具の一つとして「ふろしき」を取り上げ展示する。これにあたり小澤氏所蔵の古いふろしきと現代のふろしきをあわせて展示することで、用途のみならず、その意匠の違いを新旧比較してみるための機会とする。

共催：大嶋屋

⑨「新潟仏壇工芸・越後生紙」展

開催期間 令和元年10月17日(土)～11月8日(日)

当市の伝統的工芸品の一つ「新潟・白根仏壇」から「新潟仏壇」を展示する。これにあたり仏壇製作の技法を用いた仏壇以外の製作物の展示と職人の紹介も行う。

また、県内の手漉き和紙職人による組合「越後生紙振興組合」と共催し、県内の各所に伝わる様々な和紙制作技法を紹介する。

共催：新潟仏壇組合、越後生紙振興組合

⑩ボランティア企画「新潟の新聞」展I

開催期間 令和2年11月14日(土)～12月13日(日)

当館ボランティアスタッフ有志による、市民参加型の企画展。新潟の新聞をテーマに、ボランティアスタッフが展示内容を検討し、展示設営作業を行う。

⑪「羽子板」展

開催期間 令和2年12月19日(土)～令和3年1月17日(日)

新年にあわせて、当館所蔵の羽子板を展示紹介する。

⑫「ひな人形とからくり人形」展

開催期間 令和3年2月20日(土)～3月21日(日)

上巳にあわせ、当館及び近隣に伝わったとされる雛人形を展示する。また、日本の伝統的な人形文化の一端を紹介する目的で新潟ハイカラ文庫所蔵の古式雛も展示する。

共催：新潟ハイカラ文庫

(2) 教育普及事業

新潟市の歴史文化への市民の関心や興味のニーズに対応するため、ボランティアなどの人やモノ、情報などの資源を活用して、市民へ歴史に関するさまざまなサービスを提供したり、学校等の教育活動を提案したりする。

① 体験学習事業

・企画展の内容に即した体験学習

仏壇工芸体験、生紙体験（「新潟仏壇・生紙」展中）

着物体験（「着物」展中）

稲わらでつくるひな人形（「ひな人形とからくり人形」展中）

・落語口演会

・新潟甚句、佐渡おけさ講習会

- ・クリスマスのフラワーアレンジメント
- ・稲穂でつくる正月飾り
- ・フラワーアレンジメントワンディレクソン

② 宿泊体験事業

- ・新潟市内の小学4年生を招いて、宿泊体験を行う。

③ 講座・講習・講演会事業

- ・企画展の内容に即した講演会
 - ふろしき講座（「ふろしき」展中）
 - からくり人形実演（「ひな人形とからくり人形」展中）
- ・掛け軸講座
- ・庭園講座 全2回（春1回、秋1回）
- ・秋の酒づくり、春の酒づくり（秋1回、冬1回）

④ ボランティアガイド事業

- ・新規ボランティア養成
- ・ボランティア勉強会の実施
- ・ボランティア企画展の実施

(3) 施設普及事業

旧小澤家住宅の活動を広く市民に知ってもらうため、広報用の印刷物を作成したり、SNSによる情報発信をしたり、新聞・雑誌等を通じて館の広報活動を行ったりする。

また、季節に合わせたしつらいや、イベントの開催などにより、来館の動機付けを行う。

① 芸術文化活動の開催

- ・市民企画フラワーアレンジメント 花で彩る 令和3年1月中

② 季節に合わせたしつらい

- ・山野草の展示

③ 季節に合わせたイベントの開催

- ・藤見煎茶会 令和2年5月10日（日）
- ・夏至祭 令和2年6月20日（土）、21日（日）
- ・秋の大文化祭 令和2年11月23日（月）
- ・年忘れ煎茶会 令和2年12月20日（日）

④ 食をテーマにしたイベントの開催

- ・ごつつお会

(4) 調査研究事業

市民が注目し、深く関心のあるテーマの探求や本施設における活動の発展のために、調査研究活動を行う。

「旧小澤家住宅周辺の歴史的町並みを考える会」に賛助会員として参加する。

(5) 収蔵資料の保存管理事業

旧小澤家より寄贈を受けた歴史・民俗・美術・図書等の資料を長期的に保存・活用する。新

【資料6】

規受け入れ資料の保存と目録の作成。

(6) その他事業

地元団体、関連施設と連携した催事を開催する。

・新潟市民茶会 令和2年 10月4日

2 文化施設管理受託事業

旧小澤家住宅管理事業

新潟市文化財に指定されていることを理解し、利用者へのサービスの向上に努め、旧小澤家住宅（情報案内所・藤ノ間・百合ノ間・道具蔵・離れ座敷等）の管理運営を行う。

○付帯・施設貸与事業

来館者に対するサービスの充実を目的に、和の文化、みなとまちや歴史に関するグッズ等を扱ったショップの運営を行う。

令和2年度 歴史博物館開館カレンダー

2020年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2021年 1月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28				

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※ は休館日 (6月29日～7月6日は薬剤燻蒸、2月1日～2月8日は施設整備のため休館)

開館日数 293日

◆ 常設展 (開館日には常に観覧できます)

水運や農業、水害など、さまざまに「水」と深く関わりながら生きてきた新潟の人々の歴史を、ジオラマや映像、実物資料を使ってわかりやすく紹介しています。
また、ミュージアムシアターでは、当館のオリジナル作品4本を午前10時から30分毎に内容を替えながら上映しています。

◆ 企画展 (タイトルは仮)

○ 「いっぴん — 学芸員おすすめの品 —」展

みなとぴあの収蔵品の中から各学芸員がおすすめする「いっぴん」を選び、見どころとともに紹介します。「みなとぴあといえば」といった定番の資料や、今回初めて公開する資料のほか、「こんなものも？」など、歴史博物館には意外な資料も登場します。
それぞれの「いっぴん」が重要であることはもちろん、機能を失ったモノでも歴史を伝える使命を持っていることなど各学芸員の視点から資料の価値とユニークなポイントを紹介します。

4/11
▼
6/7

○ 「潟のくらし」展

新潟市域の潟をめぐる生物学・地理学の最新の知見を紹介するとともに、先人たちが積み重ねてきた潟や低湿地をさまざまな形でくらしに利用する技術を紹介します。
潟や低湿地という環境を賢明に利用してきた生活文化の継承し、現代の潟と私たちの関わり方を考えるための手がかりを紹介します。

7/11
▼
8/23

○ 第17回 むかしのくらし展「新潟の昭和」

令和への改元を機に、子どもたちにとっては記憶にない、遠い過去の時代となった昭和を取り上げ、その時代の新潟の暮らしや風俗、町の様子などを紹介します。
親・祖父母世代にとっては記憶に残る懐かしい時代でもあり、展示を媒介として過去の暮らしを振り返ってもらうとともに、子どもたちとの世代をこえた交流の機会を提供します。

9/12
▼
11/3

○ 「生誕320年 五十嵐浚明」展

五十嵐浚明(1700-81)は、新潟湊に生まれた江戸時代中期の絵師です。新潟で後進育成に尽力しながら、書や漢詩にも優れた教養をもって関西の文化人と対等につきあい、晩年には勅命を得て天皇に画を献上する栄誉も得ました。江戸後期に活躍する地方絵師たちの先駆的な存在であり、新潟の美術史を語る上で欠くことのできない人物です。
浚明生誕320年を記念した本展覧会では、新潟で大切にされてきた作品に加え、関西とのつながりを示す作品などを広く集めてご紹介します。

11/14
▼
12/27

★ 収蔵品展・新収蔵品展

資料の収集・保存は博物館の重要な事業です。収蔵品展では、館の収蔵資料の中から選び出した資料を紹介します。新収蔵品展では、当該年度に新たに収集した資料を紹介します。

2/13
▼
3/28

講座等催事カレンダー

● 体験プログラム(土・日や祝日を中心に50回程度開催)

伝統的な季節の行事体験, 砂絵描き, 火起こし, ワラ紙づくりなどの子ども向け親子向けの楽しいプログラムを開催します。また, 夏休みの子どもを対象にした体験や大人を対象にした体験イベントなども行います。

● 博物館講座(4, 12, 3月を除く各月の第4日曜日に開催)

当館の学芸員が, 日頃疑問に思っただけ調べたことや研究を進めている内容について報告し, 参加者とともに考えていく講座です。

5/24, 6/28, 7/26, 8/23, 9/27, 10/25, 11/22, 1/24, 2/28

● みなとびあバスツアー (※予定)「みなとびあファンクラブ」会員限定

当館館長とともに県内の史跡や文化財を訪ねます。

● 館長講座(3/7・14・21・28の全4回開催 ※開催日は予定)

当館館長自らが時流に合ったテーマを設定し, 企画・開催する全4回の講座です。

● みなとびあ歴史発見プロジェクト

開港150年の歴史ある新潟の街を盛り上げていくため, 企業や団体, 個人の方々から協賛・寄付金をいただいて, 企画展や講座, 体験プログラムなどを実施しています。詳しくは館からの案内やホームページ等をご覧ください。

○ 出張講座や講演会等も希望に応じ実施します。お気軽にご相談ください。

○ そのほか, 当館で開催予定の展覧会など

☆「第58回現代工芸新潟会展」 6/20～6/28
(主催:現代工芸新潟会)

※催事の名称, 時期とも年度当初の予定です。
最新情報をポスターやチラシ, ホームページ, 電話等でご確認ください。

令和2年度 旧小澤家住宅開館カレンダー

2020年4月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

5月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

6月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30				

7月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

8月

日	月	火	水	木	金	土
						1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29
30	31					

9月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

10月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	31

11月

日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30					

12月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30	31	

2021年 1月



日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

2月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28						

3月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

※  は休館日（1月22日～1月29日は施設整備のため休館）
 は一般公開なし（市民茶会）

開館日数293日

【企画展のご案内】

- 桜井進一氏写真展「新潟むかし:昭和の記憶・他門川」 4月4日(土)～5月10日(日)
桜井氏が撮影した他門川の写真を展示紹介し、往事の姿を回顧します。
- ミニ企画展「端午の節句飾り」展 4月25日(土)～5月6日(水)
端午の節句にあわせて、節句飾りなど小澤家に伝わる品々を展示します。
- 「和時計」展 5月23日(土)～6月14日(日)
時香盤や和時計を展示し、日本の時計について紹介します。共催・新潟ハイカラ文庫
- 「着物」展 6月20日(土)～7月19日(日)
小澤家で使用された着物を展示紹介します。共催・大嶋屋
- 「みんなの問題・海のごみ」展 7月18日(土)～8月2日(日)
小澤家の商売とも深いつながりのある「海」について、海ゴミを考えるパネルを展示します。
- 「うちわ」展 7月25日(土)～8月30日(日)
夏にあわせて、当館所蔵のうちわを展示紹介します。
- 夏の寝間展示 8月8日(土)～8月23日(日)
夏にあわせて、寝室だった寝間に蚊帳を吊って演出します。
- 「ふろしき」展 9月5日(土)～9月27日(日)
古いふろしきと、新しいふろしきをあわせて展示します。共催・大嶋屋
- 「新潟仏壇工芸」展 10月17日(土)～11月8日(日)
新潟市の伝統工芸品である新潟仏壇について紹介します。共催・新潟仏壇組合
- ボランティア企画「新潟の新聞」展 I 11月14日(土)～12月13日(日)
当館ボランティアが新聞をテーマに、歴史や魅力を紹介します。
- 「羽子板」展 12月19日(土)～1月17日(日)
正月にあわせて、当館所蔵の羽子板を展示紹介します。
- 「ひな人形とからくり人形」展 2月20日(土)～3月21日(日)
ひな人形とあわせて江戸時代のからくり人形を展示します。共催・新潟ハイカラ文庫
タイトル・期間は変更となる場合があります。

【講座等のご案内】

- 「藤見煎茶会」 5月10日(日)
- 「夏至祭」 6月20日(土)・21日(日)
- 「庭園講習会」
- 新潟甚句・佐渡おけさ「新潟の踊り講習会」
- 「秋の酒づくり」 9月
- 「新潟仏壇」展「製作体験」 企画展期間中
- 文化の日 無料公開 11月3日(日)
- 「旧小澤家住宅 秋の大文化祭」 11月23日(月)
- 「稲穂でつくる正月飾り」 12月13日(日)
- 「年忘れ煎茶会」 12月20日(日)
- 市民企画フラワーアレンジメント「花で彩る」 1月中
- 「稲わらでつくるひな人形」 2月21日(日)
- 「からくり人形の実演」 2月27日(土)・28日(日)
- 「春の酒づくり」 3月

ほか